

保育課程

ニチキッズひろおもて保育園

保育理念 (事業運営方針)		おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ ～ 子どもたち自身の持つ力を最大限に活かし、伸ばしていくことで、「やさしく、つよく生き抜く力」を育む～															
保育目標		◆すくすく育つ ◆わくわく遊ぶ ◆いきいき過ごす															
保育方針		◆遊びや学びの中で、人とのかかわりの中で、自分というカラーを見つけていけるようにサポートしていきます。															
社会的責任			人権尊重			説明責任			情報保護			苦情処理・解決					
○児童福祉法・保育所保育指針に基づく児童福祉施設として、児童・保護者・地域に対し、保育所の役割を確実に果たす。 ○職員は公私を問わず、成熟した社会人であることを心がける。			○基本的人権を尊重する。 ○子どもの最善の利益を守る。 ○児童を個人として尊重する。 ○保護者もまた個人として尊重する。			○保護者や地域社会に対して、当園の理念・方針や保育活動の目的・計画を応答的な手段を用いて説明する。 ○日々の児童の様子や活動の内容を、多様な手段を用いて説明する。			○児童福祉の精神に基づいた保育事業を遂行するため、取得した名前・生年月日・健康状態等の個人情報等を、当園の保育方針の範囲内で利用することができる。			○苦情対応窓口、担当者、苦情解決責任者の設置を行い、書面における体制整備を行う。全職員間で共通理解を図る。					
子どもの 保育目標(姿)		0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		就学前			
		生理的欲求を満たし生活リズムをつかむ。		未知の世界に興味を持ち活発になる。		行動範囲が広がり探索活動が盛んになる。		象徴機能や観察力を発揮する。		感情が豊かになり我慢ができるようになる。		集団活動の中で意欲的に活動し新しい知識や能力を獲得する。		集団生活の中で意欲的に活動し知識や能力を獲得する。			
年齢		6ヶ月未満		6ヶ月～1歳3ヶ月未満		1歳3ヶ月～2歳未満		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		就学前	
養護	生命の保持	家庭との連絡を密に取り一人ひとりの健康状態を把握して生活リズムを形成していく。		一人ひとりの生活リズムを大切に保健的に安全な環境を作り疾病や異常の発見に努める。		保育者との信頼関係を育みながら生理的欲求を満たし快適に生活できるようにする。		基本的生活習慣の習得を個々に合わせて援助し自分でしようとする姿を認め喜びや自信を抱けるようにする。		食事、排泄、睡眠、衣服の着脱など生活に必要な基本的習慣が身につくように援助する。		自分でできることに喜びを持ち身の回りのことなど自分でできることは自分でする。		自分でできることの範囲を広げながら基本的習慣や態度を身につけ、自信や満足感をもてるようにする。		運動と休息のバランスや調和を取り基本的生活習慣を身につける。	
	情緒の安定	子どもが示す様々な行動や欲求に適切に応え、応答的なふれあいや言葉掛けを行い、安心して過ごせるようにする。		スキンシップを十分に取しながら、保育者とのかかわりの心地よさ、安心感をもてるようにする。		保育者との信頼関係を深め、子どもの甘えなどの依存欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。		一人ひとりの子どもの欲求を十分に満たし発達発育状況に応じた落ち着いた雰囲気の中で安心して過ごす。		保育者との信頼関係の中で自分の気持ちを表したり受容されていると感じ安心して生活できるようにする。		子供同士の遊びを豊かにし友だちとの関係の中で徐々に自分の気持ちや考えを発揮できるようにする。		身近な動植物に親しみそれらに関心や愛情を持つ。		生活リズムに応じた活動内容の調和を図り、休息が取れるようにする。	
教育	健康	清潔で安全な環境を整え、のびのびと身体を動かすことの心地よさや清潔になることの心地よさを感じる。		・自我の芽生え、歩行の確立など運動機能の発達を促す。 ・オムツを替えてもらい心地よさを感じる。		・身の回りの簡単なことを自分でしようとする気持ちが芽生える。 ・安定した睡眠をとる。		・生活の中で援助してもらいながら、自分でできたことに喜びを感じる。		・身の回りを清潔にし生活に必要な活動を自分でしようとする。 ・外遊びを十分にするなど遊びの中で身体を動かすことの楽しさを味わう。		楽しい雰囲気の中で友だちと関わり、様々な道具や用具を使い喜びを持ちながら積極的に遊ぶ。		安全に必要な基本的習慣や態度を身につけ心地よい生活をするためのマナーがわかり守って行動する。		危険から身を守る注意力を身につけ、行動する。	
	人間関係	安心できる人的、物的環境の下で、聞く、見る、触れるなど感覚の働きが豊かになるようにする。		安心できる保育者とのかかわりの中で、安定した生活を過ごす。		保育者に見守られながら、身近な大人や子どもに関心を持ち、関わり合うようになる。		身の回りに様々な人がいることを知り、徐々に友だちと関わって遊ぶ楽しさを味わう。		友だちとの遊びを広げ、簡単なルールのある遊びがわかるようになり、決まりや約束事を守ろうとする。		人からの親切に対して心地よさを感じ、友だちの気持ちや立場をわかってしたり、親切にすることを喜ぶ。		異年齢の子どもとのかかわりや集団遊びを通じて、自己主張したり人の立場を考えながら行動する。		遊びや行事を通して、友だちを応援にしたり、協力して頑張ることの大切さを知る。	
	環境	姿勢を変えたり移動したり様々な身体活動を十分に行えるように安全で活動しやすい環境を整える。		絵本、玩具などに興味を持ってそれらを使った一人遊びを楽しむ。		好きな玩具や遊具に興味を持って生活遊びを通じて自由な活動を楽しむ。		自然物やいろいろな素材に触れてのびのびと遊ぶ。		身近な環境や自然に興味を持ち自分から進んで遊ぶことを喜んだり楽しんだりする。		身近なものや遊具に興味を持って関わりを考えたり、試したりして、関心を深めながらいきいきと遊ぶ。		身近な事象や自然現象に興味を持ち、美しさや不思議さに感動する。		身近な環境、自然や生活とのふれあいの中で、数、量、形や時刻、文字などに関心を深める。	
	言葉	優しく言葉をかけてもらうことにより、言葉を理解し、喃語で応えたり身振りや声で伝えようとする意欲を育てる。		保育者の語りかけに喜び、繰り返しのなかから身近な言葉を覚え、声や言葉で気持ちを表そうとする。		保育者と一緒に言葉の繰り返しを楽しみ、手遊び、つもり遊びをしながら言葉を覚えていく。		保育者を仲立ちとして、生活や遊びの中で簡単な言葉のやりとりを楽しむ。		絵本、童話、視聴覚教材などを見たり聞いたりしてその内容や面白さを楽しむ。		人の話を聞いたり自分の体験したことを話したりして、言葉で伝える楽しさを味わう。		自分の経験したこと、考えたことなどを適切な言葉で表現し相手と伝え合う楽しさを味わう。		人の話を聞く大切さがわかり言葉を通して内容を理解する楽しさを知る。	
	表現	心地よい時は微笑み不快な時は泣いて欲求を表す。		保育者のする事に興味を持ちたり模倣したりすることを楽しむ。		保育者と一緒に歌ったり、手遊びをしたり、体全体、両手両足をしっかり使って遊ぶ。		保育者と一緒に簡単なごっこ遊びができるようになる。		歌、リズム、造形などいろいろな表現活動を楽しんだり自分たちで作ったもので遊ぶ楽しさを味わう。		生活の中で様々な音、色、形、手触り、動き、味、香り等に気づいたり、感じたりして楽しむ。		イメージを膨らませ、感動したことや発見したことを創造的に表現したり感性豊かに表現して楽しむ。		共通の目的に向かって協力し合い、一緒に作り上げることを楽しむ。	
食育	食を営む力の基礎	・安定した人間関係の中で適切な援助により食に対する意欲をもつ。 ・離乳を進め、様々な食品に慣れさせながら幼児前食(未満児食)への移行を図る。		・楽しい雰囲気のもとで食べることができるようにする。 ・様々な食品や料理を見る触る噛んで味わう経験を通して自分で進んで食べようとする。		・食生活に必要な基本的な習慣や態度に関心をもち楽しんで食事、間食を取ることができるようにする。		・友だちと一緒に食事をしたり様々な食べ物を食べる楽しさを味わうようにする。 ・楽しい雰囲気の中で食事のマナーを身につける。		・食事に必要な習慣、マナーを知り自ら進んで行う。 ・食事をすることの意味がわかり楽しんで食事や間食を取るようにする。		・健康と食べ物との関係について興味をもつ。 ・季節の食に関心をもち積極的に食に関わる。		・食事と栄養のバランス(三食表)に興味を持ちながら食事とする。 ・食べ物に感謝の気持ちをもち食を楽しむ。			
健康支援			・健康発育発達状態の把握 ・年間保健指導計画 ・内科、歯科検診 ・異常が認められたときの対応					心身状態や家庭生活、養育状況の把握			研修計画			・園内研修(運営方針・保育内容・応急救護・防災・ケース会議など) ・園外研修 ・研修報告会			
環境・衛生管理			・施設内外の設備、用具等の清掃、消毒、安全管理及び自主点検 ・子ども及び職員の清潔保持					特色ある保育			・異年齢保育 ・専門講師による英語、リトミック ・遊んだり体験の中から、子ども自身が学び、自身のカラーを認められながら育つ環境設定						
安全対策・事故防止			・避難訓練[火災、地震、初期消火](毎月) ・防犯訓練(隔月) ・引渡し訓練(年1回) ・消防点検(年2回) ・消防署査察 ・消火訓練					小学校との連携			・保育所児童要録の送付(年長児全員) ・小学校行事への参加・交流						
保護者、地域等への支援			・保護者会 ・保育参観 ・保育参加 ・個人面談 ・連絡帳による情報交換 ・園だより、保健だより、給食だよりの発行 ・第三者評価、利用者評価の実施 ・ホームページによる情報提供 ・散歩を通して商店、図書館等、地域資源の活用					地域の行事への参加			・季節行事による老人ホーム等への訪問や参加 ・町内会のおまつり等への参加						